

2019 Fall Global Ambassador

小山 陸さん 帰国後インタビュー

◆留学を決めたきっかけは何でしたか。

自分が所属する学習院大学国際社会科学部では、留学が必須だったからです。アメリカに留学を決めた理由は、昔からアメリカの大学に留学をするというのが憧れであったのと、勉学に真面目に励むアメリカの大学生に囲まれて勉強に取り組んでみたいと思ったからです。また、自分は日本の大学でアメリカンフットボール部に所属しているため、本場のフットボールを観てみたいという夢がありました。

◆小山さんは日本でのアメフト部の活動も忙しかったかと思いますが、1学期間の留学をする上で部活との両立は懸念点になりましたか。

1カ月間程の短期留学だとどうしても遊びの延長のようになってしまい、折角の機会を無駄にしてしまうのではないかなと思っていたので、留学をするならば半年～1年間と決めていました。短期留学をして部活と留学をどちらも1カ月無駄にするよりは、部活を一旦休んでも留学に専念しようと考えました。高校生のときに1年間留学をしたということもあり、今回は1学期間での留学に決めました。

◆今回の留学先を選んだ理由を教えてください。

まず、留学先を選ぶにあたり大学ランキングの高いところに行きたいなという願望がありました。その中で、SAFの個別相談を受け、自分の行くことができる範囲でレベルが高く、かつフットボールが強いミネソタ大学を選びました。高校のときにミネソタ州の近くのミシガン州に留学していたこともあり、ミネソタの寒さにもしっかりと対策して行きました。対策はしていても日本とは全くレベルが違う寒さでしたが・・・（笑）。

◆それではミネソタ大学での授業について、希望する授業は履修することができましたか。また、おもしろかった授業や、苦手だった授業があったら教えてください。

もともと希望していたビジネスの学部に入ることができたので、希望した授業をスムーズに履修することができました。（※2019年9月時点。現在はミネソタ大学の学部授業履修プログラム（語学科目付き）での出願の場合ビジネス学部の授業を履修することはできません）

1科目だけ非常に人気が高く、留学生は履修登録が正規生より遅いため、その授業は残念ながら履修することができませんでした。それ以外は希望通りとることができたと思います。

Human Resource Management という授業は面白かったです。会社を運営する側の視点からビジネスを考えるという授業で、5人くらいのグループで会社を作り、人事部として「どのように社員を採用するか」ということを考えました。どういう分野でどのような規模の会社を立ち上げるかもグルー

づごとに自由に決めることができ、一人一人がアイデアを出して共有していきました。自分たちのグループではたまたま授業の前にサボテンを買ってきて授業に持ってきた人がいたことをきっかけに「サボテンを売る会社」に決まり、サボテンを通して子ども達とのコミュニティを増やして地域貢献するという事業を考えたりしました。グループワークではそれぞれの役割も決まっていたのですが、本当にこれでいいのか不安で相談しながら進めていったため、難しい授業でもありました。今まで顧客側の視点からしかビジネスを見てきたことがなかった自分にとって、「どういう風に経営者は会社を運営しているのか」を知る良い機会になったと思います。

また、アメリカの移民の歴史などを知る授業があり、それもとても興味深く面白かったです。基本的に、授業はディスカッション形式で各々が各お題に対して自分の考えを伝え、ディスカッションをするという授業でした。性格上内向的なところがあり人前で話すこともあまりなかったので最初は緊張しましたが、徐々に慣れていき最終的には問題なく話すことができたかなと思います。自分の考えを伝えるというカモ身についたし、マイノリティの視点で物事を考える良い機会にもなりました。

◆授業の雰囲気はどうでしたか。

どの授業にも共通して言えることは、日本に比べて学生の授業に対する積極性が違うというところです。アメリカの大学では、学生が活発に自分の意見を伝えることが多いので毎授業内容が濃く、楽しい雰囲気で行われていました。

授業中に眠る人は1人もいなく、多くの学生は夜まで図書館で勉強していて、その環境にいたことで自分も刺激され勉学に励むことができたので、とても良い経験ができました。

◆わかる範囲で結構ですので、学生さんの国籍の比率を教えてください。

40人ほどの規模の授業を3つ、100人規模の授業を1つ履修しており、どの授業もアメリカ国籍の人が95%以上を占めていました。ミネソタ大学は学生数が多いマンモス校であるので留学生の数も多く、アジア人の方も見かけましたが、同じクラスにいても自分含めて5人程度でした。自分の友達もアメリカ人の人が多く、次いでアジア圏内からの留学生が多かったです。

◆小山さんは学部授業履修プログラム（語学科目付き）で出願されていましたが、語学の授業はどうでしたか。

週1回のライティングの授業で、1学期間を通して12~13枚のレポートを1つ作成するというものでした。最初の方は「どのように引用するか」などの基本的なことから始まり、レポートの導入から結論までを2週間に一回ずつまとめていくという内容で、そこまで厳しい授業という感じではありません。クラスの大半は中国人で、あとはサウジアラビア人や韓国人等がいました。他の語学クラスには日本人もいたようですが、このクラスでは日本人は自分一人でした。

◆日本人は一人だったのですね。授業以外で他の日本人留学生と関わる機会がありましたか。

大学に日本のコミュニティがあるので、2週間に1回くらいコミュニティを通して会うことはありました。ミネソタ大学自体日本人の数が少ないので、授業内に他の日本人がいることは一度もありませんでした。全てのクラスで日本人が自分一人だったので、授業内では先生に「日本はどんなの？」と聞かれることがありました。

◆授業外で何か参加されたアクティビティはありますか。

新学期が始まる週などは、フリーフードを提供するクラブやサークルのようなものが多かったので、友達を作るためにも参加しました。クラブやサークルについて知る良い機会でもありましたが、そのイベントで今も仲良くしている友達と出会う事が出来たので良かったです。また、Go Minnesota (SAFなどの留学生受け入れを行うオフィス)もクリスマスやハロウィンなどのイベントを開催してくれます。

最初の方は室内サッカーのクラブに入っていましたが、練習場のスタジアムが少し遠かったのと勉強がどんどん忙しくなっていったため後半はあまり行けなくなってしまいました。他には English クラブという留学生や多言語を学びたいアメリカ人学生が集まるサークルがあり、2週間に1回ほどのペースで集まって一緒にご飯を食べるというものだったのでたまに顔を出していましたね。

また、金曜日などに、movie night が催されることが多く、何度か友達と勉強の休憩がてら行き、リラックスをしたり映画を楽しみました。

◆レポートでは現地のアメフトチームについても書いていただいていたね。

はい。自分のチームに何か持ち帰りたいと思い、練習場に行ってみたりしました。

ミネソタ大学のアメフト部は収益力を誇っていて警備も厳戒態勢だったので、選手と関わるのはなかなか難しかったのですが、チームの監督と話せたことは大きな収穫になりました。

頻繁に練習場に行っている間に顔を覚えてもらい、シーズンチケットをいただくこともできたため、ミネソタのチームの試合はそのチケットを使って観に行きました。シーズン中8回ほど観に行くことができたので、本当にラッキーでしたね。上位校との対戦でミネソタが逆転勝利したときは、全員試合後にスタジアムに下りて、選手とも近い距離で写真を撮ることができました。

同じ時期にオレゴンに留学をしていた友人と協力しながら、自分のチームにも留学先でのアメフトの情報を送るようにしていました。

◆シーズンのチケットをもらえるほど顔を覚えてもらったのはすごいですね！では大学にはどんな施設がありましたか。よく利用した施設があったら教えてください。

ミネソタ大学の大学図書館は日本のものと比べないくらい大きく、個人の勉強スペースなども充実していたので、授業の合間や授業後に多く利用しました。個人の自習スペース以外にも、グループワー

ク用のスペースもあったため、友達と一緒に勉強をしたり、グループ課題を行ったりもしました。図書館に行く度に席がほとんど埋まって、多くの人が真剣に勉強していたので、自分も周りの学生に感化されて集中して勉強に取り組むことができました。寮にも勉強ができるスペースがあり PC 設備もあるのでみんな PC を使って勉強しているのですが、現地の人みんなタイピングが早くてガチャガチャ音が気になるので、自分は図書館で静かに勉強するのが好きでしたね。また、ミネソタ大学では一人週 2 回までライティングセンターを使用できるので、ほぼ毎週利用していました。

あとは 5 階建てのとても大きなジムがあり、学生証があれば無料で利用できるもので、多いときで週 4 回くらい行っていました。寮から 5 分くらいの場所でしたし、施設内も非常に充実していたためお勧めです。

◆食堂（カフェテリア）はありましたか。また料金設定はどうでしたか。

食堂自体の数は少ないですが、ショッピングモールのフードコートのように、一つの食堂にパンダエクスプレスなどのような店が沢山入っている感じでした。元々、ミネソタ州は物価が高く、ランチでも 10 ドルを超えることが普通だったので、日本と比べたら安くはない値段でした。節約のためにも、基本は自炊をしていたので多く使う機会はありませんでしたが、たまにランチで食べる事がありました。

自分の住んでいた寮には食堂はありませんでしたが、別の寮に住んでいる友人がミールプランを購入していたため、ゲスト券を使って寮の食堂で食事したこともありました。どの店も美味しく、種類が豊富だったので良かったです。

◆次に滞在先について、大学までの通学はどうでしたか。交通機関等は利用しましたか。

キャンパス内にある寮に住んでいたため、授業には徒歩で行っていました。履修していた授業がほとんど Westbank というエリアで行われており、寮からは徒歩 10 分ほどで行くことができました。授業によっては少し離れた Eastbank まで行かなければいけないため、バスや路面電車を使って通学していた友人もいました。バス停や路面電車の駅は寮の目の前にあるので、非常に立地は良かったです。授業後は同じ寮に住む友達と一緒に話しながら歩いて帰宅していました。一度 Lime(スクーターの配車サービス)を利用しましたが、値段が少し高く、自分の場合は徒歩でも十分通学できる距離だったので、あまり頻繁に使うことはありませんでした。

◆滞在先について良かった点、悪かった点があったら教えてください

2 人部屋の寝室が 2 つある 4 人部屋で、ルームメイトはアメリカ人、中国人、香港人でした。ルームメイトとはとても仲が良く、4 人で出かけることもよくありました。

良かった点は、立地が良かった事と、ほとんどの友達と同じ寮に住んでいたため、寮と一緒に勉強をしたり、遊んだりできた事です。また、他の寮に比べて静かで、パーティーなどが行われることも少

なかったため、騒音などには困る事はありませんでした。

悪い点を挙げるとしたら、近くに安いスーパーマーケットがない事です。キャンパス内にいくつかスーパーがありましたが、少し値段が高く種類も少なかったため、電車で15分ほどのところに2週間に一回行っていました。

◆**普段の食事は自炊をされていたのですね。**

はい。ルームメイトもみんな自炊していたため、その影響もありました。特に中国人のルームメイトは料理が上手く、よく教わっていました。通学が徒歩5~10分ほどだったので、お昼も基本的には寮に戻って作っていました。日本食はそこまで作りませんが、アジア系の食材を購入できるスーパーもあるので、友人と一緒にUberを使って買いに行ったりしていましたね。

外食をすることもあり、ラーメン屋などの日本食屋さんもありましたが、15ドル程と値段も高く美味しいとも言えなかったため、あまり行かないようにしていました（笑）。

◆**街の雰囲気はどうでしたか。また治安はどうでしたか。**

滞在していた地域や、キャンパス内は非常に安全で、夜に1人で歩いていても全然問題ありませんでした。ミネソタ州は他の州に比べても安全である事は知っていたので、あまり気にしてはいませんでしたが、留学後に行ったLAなどに比べると、いかに安全だったかを改めて感じました。

ただ、ミネアポリスのダウンタウンなどに行くと、ホームレスの人数も増えたり、ゴミが街に散らかっていたりしていて、日本に比べるとやっぱり少し危ないかなとは感じました。

また、ミネアポリスにある建物は全て室内通路でつながっています。もちろん大学の寮から街に行くときは外に出ないといけませんが、街中では屋外に出なくても歩くことができるため、冬の間は非常に便利です。

◆**普段、休日はどのように過ごしていましたか。長期休暇には旅行等されましたか。**

週末はルームメイトや友達とミネアポリスやセントポールに行って、観光巡りをしました。9月にはミネソタステイトフェアというアメリカ最大級のイベントに行き、アメリカ文化を堪能することができました。街の少し外れで行われており、遊園地や沢山のお店があり、1日ではとても回りきることができないくらいの規模でした。留学が始まってすぐではありましたが、1週間ほど開催しているので、これから留学する人にはお勧めしたいです。

サンクスギビングの週は、5日ほど休みがあったので、友達とニューヨークに旅行をしに行きました。また、プログラム終了後は、以前留学していたときの友人やホストファミリーに会いにミシガンへ行ったり、LA・シアトルへ一人旅をしたりしました。

年越しはミネソタ大学での友人と一緒にLAで過ごしましたが、軽く花火があがるくらいで、日本のカウントダウンほど盛り上がりませんでした。

◆交通の便はどうか。

キャンパス内に、ダウンタウンや空港まで行ける路面電車が通っていたので、何不自由なく過ごすことができました。電車は寮のある Westbank からスタジアムまでの区間内であれば無料で利用することができます。また、少し場所が悪いところに行く場合も、近くに Uber が沢山あったので、友達と割り勘してよく利用していました。ダウンタウンに近く、電車料金も安いので、交通の便で困った事はありませんでした。自分はあまり使いませんが、キャンパス内は無料のバスも走っていました。

◆渡航時にいくらぐらい持っていきましたか。その金額は十分でしたか。

現金では少し多めに 800 ドルほど持って行きました。基本はクレジットカードで支払いを行っていたので、銀行でお金を下ろすという事はありませんでしたが、800 ドル程がちょうど良かったです。普段は 5000 円分くらいの現金とクレジットカードを持ち歩き、残りはパスポートと一緒にスーツケースの中に入れて管理していました。

ほとんどの場所でクレジットカードが使えましたが、ミネソタステイトフェアなどのイベントでは現金のみしか使えなかったため、現金もある程度は持っていた方がいいのかなと思います。

◆普段は月いくらぐらい使いましたか。

基本的に食費や旅費で済ませていたので、旅行に行かない時は月に 200 ドルほどでした。安いスーパーマーケットで大量に買って、2 週間ほど過ごし、また買い物に行くというのを繰り返していただけなので、特に多額のお金を使うという事はありませんでした。

◆今回の留学は、就職活動に活かそうですか。

自分たちの代から就職活動が変わると言われているため正直不安は大きいですが、留学先では自分の主張をするということが非常に大事で、自分の意見をしっかり持つ力を養うことができたことは、面接などこれからの就職活動に活かせるのではないかなと思っています。また、部活と留学を両方経験している人は多くないと思うので、その点も武器になるかなと思います。

先日 SAF で行われた就活ゼミに参加した際に周りの方に気付かせてもらったのですが、留学中はミスをおそれずに何事にもチャレンジしていたことも自分の強みだと分かったので、この部分もしっかりアピールしていきたいです。

◆今回の留学を通して自身が成長したな、変わったなと思う面はありますか。

英語力の向上はもちろんですが、自分の意見を持って相手に伝えるという力を身につけることができました。留学前までは性格上、人前に出て自分の意見を伝えるという事はあまりしてきませんでした。

た。ただ、アメリカでは、自分の主張がないことをカッコ悪いと思っている人が多かったためか、自然に自分の意見を持つことができ相手に伝えるということができるようになりました。高校留学のときは1～5限まで全て授業が決まっていた、ホストファミリーが助けてくれる環境だったのに対して、大学での留学は全て自分で行わなければいけないため、自立もできたと思います。あとは料理が上手くなりました（笑）。

◆**留学を終えた今、今後の目標があったら教えてください。**

留学で得た積極性や英語力は、社会に出た時も活かしていきたいと思います。グローバル化が進む現在において、英語を使える人、自分の意見を相手に伝えることができる人は大切だと思うので、留学で得た経験が無駄にしないよう努めていきたいと思います。将来はグローバル化社会に必要とされる人間になれたら良いなと思います。あとはミネソタ大学で出会った友達と再会したいですね。

◆**では最後にこれから小山さんの「後輩」となる学生へメッセージがあったらお願いします！**

留学準備の段階では日本の大学での部活動が忙しい方もいるかと思いますが、自分の場合は入学したときから1学期以上の留学をすることは決めていたので、1年生のうちからできるだけ単位をとっておく等意識して行動していました。部活と留学を両立させたいと考えている人は1年生の頃からしっかりと準備することが大切だと思います。

また、留学は大きな挑戦で、留学中に辛いことなども多くあるかもしれません。しかし、その経験が一生の財産になると思います。新しい環境に自分の身を置くことで、新たな視点で物事を考えられるようになり、新たな自分を発見できると思うので、これから留学を考えてる人は頑張してほしいと思います！留学に行くことには、後悔の残らないように、自分が満足できるような留学生活にしてほしいと思うので、様々なことにチャレンジして頑張ってください！